



# あじさいネット OFF LINE 通信

## vol. 4



日本一早い旭岳の紅葉

—北海道・旭岳姿見駅—撮影：木村 博典 先生(長崎医療センター)

### 目次

#### 会員様の声

田崎医院	田崎 賢一 先生	2
中山小児科クリニック	中山 紀男 先生	3
たしろ薬局	田代 浩幸 先生	4

#### 情報提供病院のご紹介

長崎市立市民病院 医療連携センター	5
日本赤十字社 長崎原爆病院 地域医療連携課	6

#### あじさいネット キーパーソンに聞く

長崎県 福祉保健部 向原 茂明 参事監	7
---------------------	---

あじさいニュース・情報提供病院のあじさいネット登録受付時間 表紙撮影☆談話	8
--	---

#### 現在の運用状況

(平成 24 年 9 月 15 日現在)

患者登録数	23,324 名
(全件あじさいネット説明同意書取得済み)	
会員数	225 名
情報閲覧施設数	156 施設
(内、薬局数 21)	
情報提供病院数	16 施設

#### 協賛メーカー (賛助会員)

- (株)ホギメディカル福岡営業所
- 日本電気(株) 医療ソリューション事業部
- 三菱化学メディエンス(株)
- 富士通(株)長崎支店
- (株)NTT データ ライフサポート事業本部

#### 基本理念

地域に発生する診療情報を患者さまの同意のもと、複数の医療機関で共有することによって各施設における検査、診断、治療内容、説明内容を正確に理解し、診療に反映させることで安全で高品質な医療を提供し、地域医療の質の向上を目指すものです。

NPO法人長崎地域医療連携ネットワークシステム協議会



# 有床診療所でも「あじさいネット」は役立っています。

## 立上げ時の思い出



### ・DOCTOR'S PROFILE・

S60年 防衛医科大学医学科卒  
 H8年 開業  
 H16年 あじさいネット発足当初より入会  
 あじさいネット立上時メンバー



あじさいネット立上げ時には大村市医師会理事の立場で携わりました。

コンセプトは、とにかく使えるものを作ることでした。本当に使えるものは普遍性があるでしょうし、少なくとも長崎県下で通用するものにしよと考えていました。医師会として公金を拠出するので、技術的にも、費用の個人負担の面でも、少数の特定の会員ではなく大多数の医師会員が使えるということが重要なファクターでした。

ネットワークをゼロから作っていくわけですから、意見がぶつかることは当然ありました。病院と診療所ですから必ずしも最初から同じ考えで進んでいるわけではなかったですからね。色々違った意見を出し合いながら議論を交わす中で、現在のような皆同じ方向性の運営がなされるようになったわけですね。

大村市古町 田崎医院 田崎 賢一 先生

TEL : 0957-53-1234 mail:is802192@fsinet.or.jp

## 有床診療所でも

### 「あじさいネット」は有効です。

病診連携におけるあじさいネットの有用性はすでに語り尽くされているかもしれませんが、そんな中、当院は絶滅危惧種と言われている有床診療所でありますが、ここでは紹介患者の様子がリアルタイムに把握できるメリットが特に有効に生かされています。

患者さんの中核病院との行き来はよくあります。容態が悪化したため、中核病院に転院して、落ち着いたら当院に再入院される場合、再受け入れ時の診療情報提供には従来ならば電話・FAX、紹介状郵送などの手段があるわけですが、それらはその時点での要約です。あじさいネットを利用すると、リアルタイムに変化する患者さんの様子を継続して把握できます。転院間際に状態の変化が起こることもよくありますが、そういった際にも対応がしやすくなります。

### 県央地域部会での取り組み

運営委員会の地域部会は地域に根差したあじさいネットの諸問題を検討していく場です。

大村はあじさいネット発祥の地であり、多くの会員にあじさいネットを有効に活用していたですが、ごく一部に、生かし切れていない会員がいらっしやることも事実です。

実質的に、あじさいネットをもっと会員の方に活用してもらえざる必要です。使用頻度が少ない先生の使用状況をお聞きしたり、業者さんと連絡をとって実際に設定に行ってもらうなどといった事を考えています。

県という大きな単位では難しいきまこまかなフォローは、郡市の顔の見える関係の中でこそやりやすいと思います。

### ●● 田崎 先生に聞きました！ ●●

#### 一役職一

- あじさいネット理事
- 大村市医師会理事
- 大村市介護保険運営協議会、認定審査会

#### 一座右の銘一

「そのうちなんとかなるだろう」です。

あんまり深い意味はないのですが、色んな困難な状況でも、悲観的にあんまり先の先まで考えてもやっつけられないから、その場その場でやれることをやるしかない、ということです。

#### 一あじさいネットに一言一

今後拡充して、高機能になって規模が大きくなることはもちろんいいことですが、使いやすく役に立つという、立上げ時の基本の考え方を見失わないように、忘れないようにと。

### セキュリティの確保は一番重視

セキユリテイが破たんしたら、あじさいネットの取組み自体が99%うまくいっていてもネット全体が信用を失いますので、最初から一番重視している点です。当初運用講習会では病院側運営委員の松本先生、柴田先生、開業医側の牟田先生や私と一緒にやっていました。セキユリテイについてはその重要性をより切実に伝えるために、病院側でなく私たち開業医側が担当して講習をしていました。

現在、あじさいネットは先進的ネットワークとして全国からの注目度は高まっていますが、機械やネットワークのシステムよりもむしろセキユリテイを重視した運用をしていることをよく理解して頂きたいと思っています。

### 今後は在宅医療での活用に期待

在宅医療分野で活用していきたいです。今でも比較的連携の状況はいいですが、ITのツールを使うことによって連携をより緊密化していくことに在宅医療関係者スタッフと共に期待をしています。

【User report】～NTT データ取締役相談役(前社長)山下 徹氏が、  
私の診療所を見学されました。～

還暦の私が日常的に

ITに接しています。

私は今年還暦を迎えました。

長崎市医師会の平均年齢が六十歳といわれていますのでちょうど平均年齢ですね。

特にIT関連に精通している訳でもないのが普通はインターネットなどの利用者として《IT》に接しています。

小児科医会の情報処理委員となつていますのでIT関連の委員会に毎月出席しています。情報処理委員会の理事の先生方はITに精通されています。先生方なので、会話はほぼ「宇宙語」ですが、私は「地球人」の代表として委員会に出席しています。いうならば平均的な一般会員の代表のつもりで務めさせてもらっています。

診療室には書類やメールを操作するためのパソコンが1台、あじさいネット専用のラインにつな

最近ではPDAも持っていますが、使い始めたら予想以上に簡単だったので、子供らとのメールを楽しんだりしています。



・DOCTOR'S PROFILE・

S54年 長崎大学医学部卒  
S63年 開業  
H21年よりあじさいネット会員  
(長崎市医師会があじさいネット入会時に入会)  
長崎市医師会情報処理委員会 委員

長崎市本原町

中山小児科クリニック

なかやま

のりお

中山 紀男 先生

TEL : 095-844-5155

多くの見学者が診療所を訪れています。

「あじさいネット」は携わる様々な方々のご尽力で全国的に知られるようになりました。そこで実際に診療所でどのような使われ方をしているのか見たいという希望が多く寄せられ、全国からの見学者が急増しています。長崎市内での見学の際には、情報処理委員や医師会会員が手分けして見学受け入れを担当しています。

見学者は北海道から九州まで全国各地より医師会、病院、県、市議会議員、マスコミ、内閣官房、企業と多岐に渡ります。

私の小児科診療所が長崎大学病院に近いこともあり、その一部を木曜日午後の休診時間帯を利用して受け入れています。

三月に、株式会社NTTデータの山下徹社長(当時)が見学にみえられました。//IT総本山」ともいえる会社のトップであった方で、普段お会いする機会などない方です。NTTデータの方々は、ITを使ったシステム開発の専門家です。専門家の方々に私に何ができるのか考えてみました。山下社長に「小児科をご覧になったことがありますか」とお聞きしましたところ、一般の開業小児科医院などはきつと初めてだったのだらうと思いましたが、身を乗り出すように興味を示されました。そこで、私の診療所には病児保育所も併設されておりますので臨床心理士や歯科医師、助産師なども働いていることなどをお話ししながら、院内の案内をしました。

開業医は意外に孤立していることや、病院に紹介した患者さんの経過をリアルタイムで



左から NTT データ 山下 徹 前社長  
中央が中山 紀男先生  
右は松本 武浩先生 (あじさいネット理事)

Profile 山下 徹 / やました とおる

S46年 東京工業大学工学部卒  
H19年 NTT データ代表取締役社長  
H24年 NTT データ取締役相談役  
主な監修書「次世代医療の道」(ダイヤモンド社)

見ることが出来る「あじさいネット」が自分自身の教育ツールになっていることなどをお伝えしました。あじさいネットについては特に、画像情報が質、量ともに素晴らしく有用であり、放射線科医の読影レポートを見ることがさらに情報の質が高まります。また主治医の書く日々の診療記録や検査、処方内容などを自院にて追えることは、以前が昼休みを利用して、紹介した入院患者さんの顔をちよつと見る程度のことしかできなかったわけですから、まさに画期的になった事をお話したところ、大変興味深く聴いておられました。

今後は、システムを構築する専門家の方や地域医師会の方々が「あじさいネット」を見学し何がどう役立ったのか検証する必要があるかと思えます。

「あじさいネット」は、操作はより簡便で、応用範囲も広がっています。小児科関連でいえば周産期患者の全登録が計画されており、ごく近い将来には小児科医、産婦人科医は全員参加の必要性が発生することでしょう。かかりつけ医の立場で発展してきたこのシステムはさらに進化を続けています。

# 薬剤師にしかできない「あじさいネット」の活用について



薬業連携の実現に「あじさいネット」を

薬剤師の用語に《薬業連携》があります。私は以前からもっと円滑な薬業連携ができればかを考えていました。

例えば、大病院の薬剤部での服薬指導を私たちが薬局が引き継ぎますが、患者さんには大病院と同じような服薬指導を期待されまじ、私たちがも提供したいと考えています。しかし実際は病院の服薬指導の細かい内容やその薬が処方された背景を薬局が知ることは難しい事でした。

薬剤師間で疾患名とか検査名とか分からないくても薬の情報だけでもやりとりができないかと色々模索していた時に、あじさいネットの講演会を聞きました。患者さまの同意書の取得により包括的に情報共有ができることを知り《薬業連携》の実現にはあじさいネットしかないなと思えました。

\*薬業連携・病院の薬剤師とかかりつけ薬局の薬剤師との連携

長崎市住吉町  
**たしろ薬局**

たしろ ひろゆき  
**田代 浩幸 先生**

TEL : 095-849-6803 mail:tashipha@mail.t-pharmacy.co.jp

例えば患者さんが手術や検査から戻られた後、薬の変更があった際なども、変更された背景があじさいネットを通して分かれますので、私の経験値と併せて、より質の高い服薬指導ができます。またカレンダー表示があるので月一回の診察日を確認して、前後の検査や処置内容が分かるので色々な活用方法があります。

あじさいネットを通して心に残る患者さんがいます。症状が悪化してホスピスに行かれ、ご本人が来られなくなり、娘さんが薬を取りに来られるようになりました。症状の変化をあじさいネットを通して見守り「どうですか」と尋ねて信頼関係を築きフォローすることができました。あじさいネットを通して深く知ることができたからこそ、フォローできた部分も大きいと感じています。その後、娘さんやお孫さんとかかりつけ薬局として処方箋を持つてきてくれるようになりました。

**薬剤師会がこれからやるべき課題**

しかしながら、失敗したこともありまして、同意書を説明するときにどうも誤解されたのか、同意してもらえなかった事が数例あります。説明の仕方は、薬局の場合難しい面があります。今後は薬剤師同士で説明の仕方も含め、利用方法と問題点を共有していくことが必要です。

ところで、薬剤師があじさいネットを通して検査値等を見たとき、それらをきちんと読む知識があるかという残念ながら不足している部分がありますし、レベルの差があります。

これから薬局会員は徐々に増えていくと思いますので、今後は薬剤師会としてどういった勉強をしていくべきか検討する必要があります。勉強会の中で、あじさいネットを使って、自分の症例を挙げ、具体的にフォォカスをあてることによってスキルアップができたらいいですね。

まだ薬剤師会の中では「あじさいネット」という言葉は知っていても、実際にどういう情報を閲覧できてどういった運用ができるのかを知らない先生方が多いです。

まずはあじさいネットを知ってもらうことが大切と考えています。実際に使っている薬剤師が薬剤師のために、どういう運用ができるのか話すことで、心に響いて伝わることは大きいと思いますから。

そこで先日は、東彼杵で県薬剤師会会長の宮崎先生が講演を行いましたし、今後も佐世保と長崎で企画しています。

●● 田代 浩幸 先生 プロフィール ●●

S 59年 福岡大学 薬学部 卒業  
H 4年 たしろ薬局開局  
H22年 あじさいネット会員  
(長崎市で当初より宮崎県薬剤師会会長とともに入会)

- 長崎県薬剤師会副会長
- p-ネット会員(長崎薬剤師在宅医療研究会)
- 医療情報学会会員

《趣味》

- ・自分で12年くらい前からアップルでサーバーを作り、p-ネットのメーリングリストの運用もしています。「コンピュータでできることはコンピュータでしょう」と。薬歴も管理できますし、他にもイラストレーターを使って書類を編集したりします。
- ・インターネットを介して、医療関係の仲間(主にドクターが多いです)と医療情報について交流をする中で「あじさいネット」を知りました。

# 情報提供病院のご紹介

地方独立行政法人 長崎市立病院機構

## 長崎市立市民病院 医療連携センター

長崎市立市民病院は平成 21 年 11 月に情報提供をスタートしました。

「地域医療支援病院」として、これまで以上に地域の医療機関との連携の強化に努めています。



### DOCTOR'S PROFILE

医療連携センター長  
入院支援センター長  
診療情報管理部長、診療部長  
S59年 鹿児島大学医学部卒  
H5年 長崎大学医学部大学院卒  
専門：消化器、胆、膵、内視鏡手術  
癌、血管新生  
H24年1月より現職

### ◆◆ Message / 鬼塚 伸也 先生 (医療連携センター長) ◆◆

#### オープンシステムの利用を推進

当院ではオープンシステム（開放型病床）の利用を推進しています。患者さんが当院に入院された際、紹介施設に送る FAX に「オープンシステム利用のご案内」を併せて送り、かかりつけ医の先生方から利用の返事を受けるとすぐに開放病床の手続きに入ります。一緒に患者さんを診る体制を強化させる事により、充実した医療の提供を目指しています。

今後、更にこのシステムを利用して頂くために、今まで手術をやつてこられた外科の先生や耳鼻科の先生といった、かかりつけ医の先生方に利用のお願いをしていく予定です。

もちろん内科の先生でも重症例など気になる患者さんでしたら入院して頂いて、一緒に診るといふ事もしております。

あじさいネットは診療所にいながらにして患者さんの情報を閲覧して術後の経過等も分かりますから、開放型病床にも大変有効ですね。

#### 地域全体が一つの総合病院に

私が長崎医療センター勤務時代にあじさいネットができました。その後、出島病院に異動し今年の一月から長崎市立市民病院に勤務しています。あじさいネットは稼働当初から知っています。あじさいネットは稼働する側のどちらでも経験した訳ですが、一言でいうとあじさいネットは非常にいいシステムだと思います。閲覧側にとつては、自分の診断のフィードバックにもなりますし、最新の治療法を勉強できる教育的面も大きいと思います。

今はもう病院完結型ではなく、地域完結型の時代だと感じています。患者さんを地域全部の病院がみていくという感覚が必要です。地域全体をいわば一つの大きな総合病院のようなイメージとして捉え、専門性において機能分担を図ったり、病院同士の空床管理を地域全体で行ったりして、地域の医療を支えていくことが求められています。そうした中で情報の共有化を行い、地域の医療機関をつなぐシステムとして、あじさいネットは役立っていくと考えています。

#### セキュリティの確保が重要

セキュリティは厳しい程いと、あじさいネット準備委員会（\*1）でも進言しております。現在、病病連携が準備中ですが、交通規則が日本どこでも同じのように、あじさいネットに参加している病院はこの病院でも同じ規則を設けることが必要不可欠です。規則に違反したらペナルティを課す、違反を犯したらしばらく



左から鬼塚 先生、染田 看護師長(副主幹)、堤(事務)、手水 (医療ソーシャルワーカー)。後列左から、福富 (事務)、泉田 (企画課システム担当)、石熊 (事務)。

■ 6月に設立した入院支援センターには持参薬管理センターを併設しています。

#### ● 医療連携センターより

利用できないとか、必ず定期的に講習会を受けるといったルールを整備し、セキュリティが担保された上で、病病連携をスタートしてほしいと強く望んでいます。

(\*1)長崎市内の情報提供病院と、上五島病院、長崎市医師会のドクターらで形成されている長崎市の地域部会。



医療連携センターは、地域の医療機関や社会福祉施設などと円滑な連携を図り、患者さんへのサービスの向上を目指しています。開放病床の利用の推進、事前カルテの作成、地域の先生方への確実な返信への働きかけなどを行っています。

#### 《診療所の先生方へ》

同意書等については、特に問題なく円滑な運用が出来るように思います。

#### 《改善してほしい点》

閲覧の有効期限が、画面をみて一目で分かるように表示して頂けたら助かります。

# 情報提供病院のご紹介

日本赤十字社

## 長崎原爆病院 地域医療連携課

長崎原爆病院は、平成21年11月に情報提供をスタートしました。

「赤十字の使命のもとに、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供」が病院の理念です。

### ◆◆ Message / 上田 康雄 副院長（医療社会事業部長） ◆◆

重症の患者さんに常時対応するためには、ベッドのスムーズな運用が必要不可欠です。7月より「入退院支援センター」を設け、今までは独立していた入院部門と病床管理と退院部門を一貫した入退院管理に致しました。各病棟の専門性は認めた上で、原則として「混合病棟」としました。

病診連携室の職員と共に、診療所を訪問する活動をしておりました。こういった活動かといいますが、当院によくご紹介頂いているかかりつけの先生方を訪問し、地域連携へのご意見やご要望を伺うとともに、地域連携をこれからどういったものにしていくべきかについて話し合い、それらを当院に持ち帰りその後の連携に活かすといった取組みです。

当院では積極的に逆紹介を進めています。かかりつけの先生方と日頃より連携を図り、地域全体で患者さんを支えていけるような様々な取組みを行っています。

### かかりつけの先生方と連携し 地域全体で支えていく



#### DOCTOR'S PROFILE

S53年 長崎大学医学部卒  
専門：内科（糖尿病）  
H22年より現職

病床管理担当の師長は他の仕事と兼任でしたが、去年から専任にし、各病棟の師長がどこに入れるかを話し合って決め、空床があればどこにでも入院できるというシステムを始めたところ、非常に入院しやすく、スムーズにいくようになりましたね。

### 退院前に「あじさいネット」の 同意取得で切れ目ない診療を

最近、在宅医療移行前に行う退院カンファランスの際に当院の病棟であじさいネットの同意書を取得して、患者さんが在宅に戻られてからも、切れ目ない診療を続けるような使い方をされるかかりつけの先生が増えています。奥平先生とか谷川先生といった在宅医療を受け入れる先生方で、「あじさいネット」を上手に活用して頂いている先生方が近隣に多いですね。

### ●あじさいネットに期待する事

現在、準備中の病診連携は是非やって頂きたいです。それと閲覧されるばかりなので、情報提供病院側も診療所の情報を共有できたらいいですね。例えば診療所が行う検査の中には、長崎市医師会の検査センター等に依頼する場合があります。そういった情報を当院で閲覧できると、より継続的に検査値を把握できるのでいいですね。

### 放射線科の先生が自宅であじさいネット

を閲覧できたらいいですね。お忙しい先生方に、救急時には相談のため来て頂いておりますので、自宅で閲覧、読影し連絡を取り合うことができれば助かります。

### ●地域医療連携課より

《診療所の先生方へ》

一つの診療所が複数の病院に同時に情報提供の同意書を送付する際に、二重登録を防ぐためにも、同意書の優先順位欄に番号を記入頂くか、同時に送付された情報提供病院の担当の方に当院にご一報頂けたら助かります。また、当院が日曜、祝祭日がお休みなので、夕方5時以降にファックスを頂いた方は、翌業務日の処理になりますのでよろしくお願い致します。

《障害発生時の対応》

S E Cの伊藤さんによく対応して頂いています。ケースによっては当院のシステム担当と連携して迅速な対応に努めています。

また近隣のID-Linkの病院の実務担当の方と連絡をとりあつたりしています。

《その他》

診療所の並びを、医療法人がっているので五〇音順にして頂ければ助かります。



左から地域医療連携課 高比良課長  
上田副院長（医療社会事業部長を兼務）  
地域医療連携課 戎屋、浦瀬

■入退院支援センターは、当院の薬局の前の新しいブースに設けています。



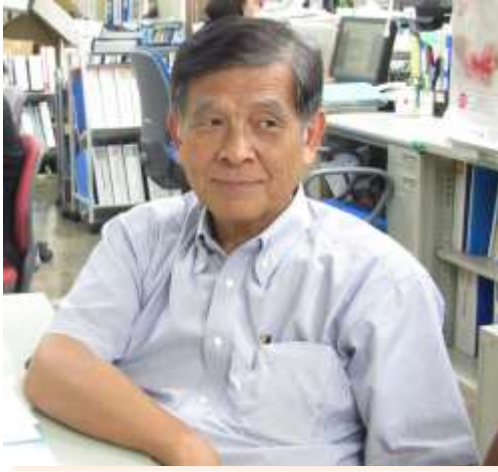
長崎県 福祉保健部 向原 茂明 参事監  
「医療と介護・福祉をつなぐツール」として、あじさいネットに期待



DOCTOR'S PROFILE

S51年 北里大学医学部卒業  
S62～H16年 国立病院長崎医療センター勤務  
\*国立病院長崎医療センター 副院長時にあじさいネット  
立ち上げに携わる  
H16～18年 長崎県立島原病院院長  
H19年 長崎県入庁  
\*現在、長崎県福祉保健部参事監（医療保健担当）兼  
県央保健所長

専門：総合診療科、地域医療  
趣味：囲碁、（ヘタな）ゴルフ、旅行



医療の分野でのIT活用はこれからです。医療は元々広域的なサービスではなく地域特性が求められますので、市町村単位や医師会単位での検討が必要です。

最近、医療機関間をITでつなぐというモデル的な取組みが全国的に広がっていましたが、運用が難しい事例が多い、そういう中で「あじさいネット」が八年目にはいつてますます進化、拡張してきている事は全国的にみてもまれで成功事例です。厚労省の方との会議の中でも「あじさいネット」といえば通じるようになりました。

「あじさいネット」が芽吹き成長した理由

私は国立病院機構長崎医療センターに在職中にあじさいネットの立上げに携わりました。最初にシステム在りきで後から人がついてくるのではなく、最初に在りきでその後ITがツールとして活用されてきた。この順番が非常に重要だと思えます。

その当時、松本先生、木村先生、柴田先生といったITに詳しい先生がいてITという道具が活かせるようになった。私なんかはアナログ人間だから、ITは得意じゃないけど人をつなぐのは得意だった、そういうそれぞれ得意分野をもった人たちが、たまたまあの時代に大村にいて、市医師会にも小尾先生をはじめとして非常に熱心に推進してくれる先生

方がいたからあじさいネットがうまく育ったのだと思います。

「あじさいネット」はここまで育つのに八年かかりましたが、時間をかけて築き上げた人と人とのつながりの上に芽吹いたので、いわば二十年くらいの間関係の上になり立つシステムであるといつて過言じゃない、そう聞くと奥深いでしょう。

長崎県の医療分野でのIT戦略

私は平成十九年に県に入庁しました。ちょうどその頃、国のIT戦略で医療のIT化を進めようという気運が数年前から生まれてきており、県の行政としてもIT化推進の動きがありました。現在、地域医療再生基金を使って地域医療再生のための予算を組んでいます、予算の一部は医療連携にも活用されています。

例えば、従来離島での救急医療発生時は、本土へ搬送するかどうかの判断のため画像伝送を利用していました。今後はこれを進化させ「より質の高い画像伝送により診断を含めた治療の相談ができる」そんなシステムをあじさいネットの情報ネットワークを利用して構築するプロジェクトなどが予定されています。

行政としてあじさいネットに期待する事

在宅医療に関心があつてずっと携わってきました。長崎市には全国でも先進的なシステムとして注目されている「長崎在宅Dr. ネット」があります。国も在宅医療を推進する動きですので今後は、医療と福祉・介護をつなぎたいと考えています。

退院すると医療から生活の場に移ります。障害や一般生活に支障のある状態での移行はよくあります。このため今後は「急性期に携わる医療関係者が、生活の場で何が必要かを知る」そして「介護や福祉に携わる医療関係者が、生活の場に必要な医療情報を把握する」そのようなシステムが必要で

【医療の現場は高齢化や人手不足といった問題により、今後救急医療体制を含め多くの危惧をはらんでいます。人が幸せな一生を送れるように、例えば最期を迎える場所に家を望んでおられる方でも【家族に迷惑をかけたくない】【近所に迷惑をかけたくない】【夜中に苦しくなったときお医者さんはどうしよう】といった理由でとりあえず病院に入院されています。その方が望む医療を提供するために医療と福祉・介護の情報共有は有効だと思えます。

今後、こういったITを使ったネットワークは非常に大きな力になると思います。ただそれが主流じゃない、人が主流であり、情報ネットワークはあくまでもツールの一つであり、それを活用して安心して暮らしていけるような医療体制を築いていく視点が重要だと思っています。

このことが一番行政として伝えたいところです。

今年、あじさいネットは佐世保地域にも拡がりました。あじさいネットは医師会や多くの医療関係者により運営されており、県はサポートとして動いています。今後、広く県民に役立つようなシステムに育っていくことを願っています。

## 《あじさいニュース》

- 佐世保市立総合病院、佐世保中央病院が7月23日にテスト運用を開始しました。
- 佐世保共済病院、長崎労災病院が運用開始予定です。
- 東彼杵郡医師会が7月28日に入会しました。
- 諫早医師会が10月1日に入会予定です。

## 《情報提供病院のあじさいネット登録受付時間》

地域	病院名	あじさいネット登録受付時間		TEL	FAX
		平日(月～金)	土・日・祝祭日		
県央	長崎医療センター	8:30～17:00	—	0120-731-062	0120-731-063
	市立大村市民病院	8:30～17:15	—	0957-52-1800	0120-378-375
	長崎川棚医療センター	8:30～17:15	—	0956-82-6420	0120-82-2970
長崎	光晴会病院	8:30～17:00	(土)8:30～12:00	095-857-3563	0120-573-632
	十善会病院	9:00～17:00	—	095-821-1214	095-818-5388
	長崎大学病院	9:00～17:00	—	095-819-7930	095-819-7305
	長崎市立市民病院	8:30～17:00	—	095-822-3251	095-821-1116
	日赤長崎原爆病院	8:30～17:00	—	0120-845-261	0120-845-262
	済生会長崎病院	8:30～17:15	(土)8:30～13:00	095-827-7021	095-827-7025
	聖フランシスコ病院	9:00～17:00	(土)9:00～12:00	095-846-2553	095-845-7600
	井上病院	9:00～17:00	(土)9:00～12:00	095-844-1281	095-849-6622
	長崎記念病院	8:30～17:00	—	095-871-1515	095-871-1510
	長崎北病院	9:00～17:00	(土)9:00～12:00	095-886-8700	095-886-8707
上五島	上五島病院	8:30～17:15	—	0959-52-3000	0959-52-8150
佐世保	佐世保市立総合病院	8:30～17:15	—	0956-24-1515	0956-22-8657
	佐世保中央病院	8:30～18:00	(土)8:30～12:30	0120-33-8293	0800-7000-070

### 表紙撮影☆談話

9月15日(土)に北海道・旭川で医師会主催の地域医療ネットワークの市民フォーラムが開催されました。あじさいネットの代表として、小尾会長、牟田先生、松本先生と私の4人で参加させていただきました。

写真は、この時に大雪山・旭岳の姿見駅から撮ったものです。例年だと見事な紅葉が見れる時期ですが、今年は少し遅れていました。旭岳は標高2,291mで北海道では一番高い山です。旭川では、旭岳のように北海道で一番の地域医療ネットワークを作り上げようと山下医師会会長を先頭に頑張っておられました。

記) 長崎医療センター・木村 博典





◆協賛メーカー◆

# HOGY®

一步先の手術室環境づくりをお手伝いします。

ホギメディカルでは、不織布・キット製品など感染対策製品および理想的な病院経営を総合的にサポートする手術管理システムをご提供しております。

国内最大級の生産・滅菌システムと全国25箇所の営業所ネットワークによって安定的な製品提供ならびにお客様サポートで「安心」をお届けしております。

株式会社 **ホギメディカル**

本社：東京都港区赤坂2-7-7 TEL:03-6229-1300 FAX:03-6229-1344



これからの「医療」を  
考えています。

Empowered by Innovation

**NEC**

地域に分散した診療情報を統合して共有するネットワークサービスで地域医療連携をご支援します。

NECの地域医療連携ネットワークサービス

まずはWebで、詳細情報を。[www.necgook.com/](http://www.necgook.com/)

お問い合わせは、NEC(医療ソリューション事業部)へ  
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1(NEC本社ビル) TEL. 03(3798)6756

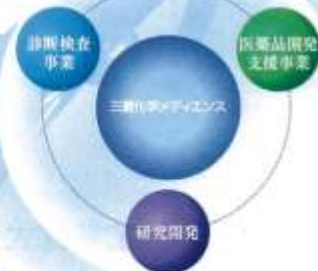
人と地球にやさしい情報社会へ

<http://www.nec.co.jp/>

Good Health Creator, MEDICAL+sciENCE

独自の事業スタイルを基盤として  
ヘルスケア分野に新たな潮流を生み出します。

東日本大震災により被災された皆様に対し改めてお見舞い申し上げます。  
被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



□ 事業内容

- 臨床検査  
(生化学的検査・血液学的検査・免疫学的検査・微生物学的検査・遺伝子関連検査・病理学的検査・その他検査)
- 予防医学関連サービス
- 医療関連サービス
- 体外診断用医薬品・体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入
- 医薬品・化学品の毒性試験、薬効薬理試験
- ヒト細胞による薬効・毒性評価
- 遺伝子・タンパク質解析
- 医薬品・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境リスク評価サービス
- 食の安全サポート
- ドーピング検査

三菱化学メディエンス株式会社

〒108-8559 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
TEL.03(6722)4000(代表)

## あじさいネット入会方法のご案内

### 1. 入会

入会申込書を事務局宛に送っていただきます。  
所属医師会が入会している場合は個人の入会金は無料です。  
所属医師会が入会していない場合は、入会金が 50,000 円 必要となります。尚、初期設定費用として別途 30,000 円 を承ります。

### 2. 利用料金

月々4,000 円 (レセプトオンライン請求も希望の場合は 5,000 円) と年 3,000 円 のウイルス対策ソフトライセンス料が必要です。ウイルス対策ソフトライセンス料とあわせて年間一括払いをお願い致します。

### 3. 機器の設置

機器設置用ヒアリングシートに必要事項をご記入の上、事務局宛にファックスまたは郵送願います。  
シートに基づいて専門スタッフ (NTT 西日本ホームテクノ九州) が設置、動作確認に参ります。

### 4. 運用講習会

利用法の運用講習会です。講習後『講習会受講修了証』とアクセス専用 ID と仮パスワードをお渡し致します。

### 5. 同意書と登録

患者さまにあじさいネットに関する説明を行い、あじさいネットに参加するための同意書をご記入いただきます。取得した同意書は診療情報閲覧を希望する情報提供病院の医療連携室宛にファックスで送付して下さい。約 10 分後に連携室より手続き終了の FAX が届きます。この段階で利用可能です。

### 6. あじさいネットポータルサイトへのログイン

アクセス専用 ID・パスワードにてあじさいネットのポータルサイトにログインし、同意を得た患者さまの診療情報を閲覧することができます。

\*手続き上、必要な様式ならびに同意書につきましては HP からダウンロードできます。



中山先生は3ページで紹介させて頂いています。  
詫摩先生いつも楽しい作品ありがとうございます。

### 入会等に関するお問い合わせ先

あじさいネット事務局(長崎県医師会事務局内)担当: 三浦、苑田  
電話 095-844-1111 FAX 095-844-1110

## 編集後記

7月23日、ついに佐世保地区の「あじさいネット」のテスト運用が始まりました。まずは佐世保市立総合病院と佐世保中央病院が運用を始め、10月には佐世保共済病院が、そして年度内には長崎労災病院も開始できそうです。また、諫早総合病院も参加を表明されましたので、これであじさいネットは県内ほぼ全域に広がりました。なお、あじさいネットには、新規入会時の入会金が免除される「医師会入会」制度があります。これはあじさいネットの取り組みを、郡市医師会単位でご支援を頂こうと、8年前の発足当初から推進しているものですが、広域化に伴い医師会入会も増えました。現在、大村市医師会、長崎県病院企業団、長崎市医師会、佐世保市医師会、東彼医師会(入会順)に加え諫早医師会も入会準備に入ったところです。地域の主要拠点病院と地域医師会の参加により、ますますあじさいネットは発展するものと期待されます。

なお、新規の情報提供病院に対しては、機器導入から運用開始まで「あじさいネット拡充プロジェクト室」がサポートしています。ご不明、ご心配な点がございましたらご相談ください。

\*ご感想は、あじさいネット事務局「aj-na@nagasaki.med.or.jp」までお願いいたします。

あじさいネット OFF LINE 通信 編集長 松本 武浩

広報誌に関わるご意見・ご要望は、長崎県医師会 長崎県あじさいネット拡充プロジェクト室までお寄せください。  
電話 095-894-9655 FAX 095-894-9651 ajisai-project@nagasaki.med.or.jp  
最新の情報は、HPをご覧ください。http://www.ajisai-net.org/